

石心会グループ  
社会医療法人財団 石心会  
医療法人社団 東京石心会  
医療法人 鶴見会  
社会福祉法人 石心福祉会  
<http://www.sekishinkai.or.jp>

# 海 燕

うみ つばめ

石心会 BULLETIN 隔月刊

発行人：石井暎禱  
編集人：辻田征男  
発行：石心会法人事務局  
〒212-0014 川崎市幸区大宮町 23 番地 5  
コーラルビル  
TEL 044-511-2266 (代) FAX 044-540-1135

## 提言

埼玉石心会病院は本年11月に移転し、新しい病院として生まれ変わることになります。

新病院は、病床数を101ベッド増やして450床病院へとひと回り大きな病院になりますが、同時に時代のニーズにフィットする、より高度な医療を実践することが求められます。

こうした背景を踏まえてこれからの看護職員は、増員と共に知識・技術の向上の両面をどのようにして確保していくかが課題となります。

特にこれから時代に看護師に求められるものは、急性期医療と高齢化に柔軟に対応する高い実践能力です。これには「主体的に考えて行動する」人材が必要であり、やりがいのある看護の実践につながると私は考えます。

今回、『海燕』の誌面を借りて、日頃考えているこうした新病院に向けての看護に対する私の抱負を述べてみたいと思います。

## 1. 新病院に向けた採用計画

新病院450床がフルにオープンするには、現在より120名の看護師増員が必要です。

病院の方針としては、平成30年度395床、平成31年度415

## 変革と進化を求めて

福島俊江

埼玉石心会病院副院長・看護部長

床、平成32年度450床フルオープンという計画が決定しており、これに向けて採用と教育の計画を立てなければなりません。

「どのような人材を採用したいか？」は、仕事が好きな人・体力のある人・元気な人……などと、挙げればきりがありませんが、組織の中で仕事をするのですから、そう簡単にはへこたれない人を採用したいと思います。

看護師の専門性という課題に関しては、新病院の専門性をリードしていく認定看護師、特定行為にかかる看護師の育成と支援をこれまで以上に手厚くしていきたいと思っています。

また、今後はこれまで行ってきた教育に加え、看護の先進国である米国への海外研修（ハワイ等）を計画したいと思っています。

## 2. ナースサポートチームの推進

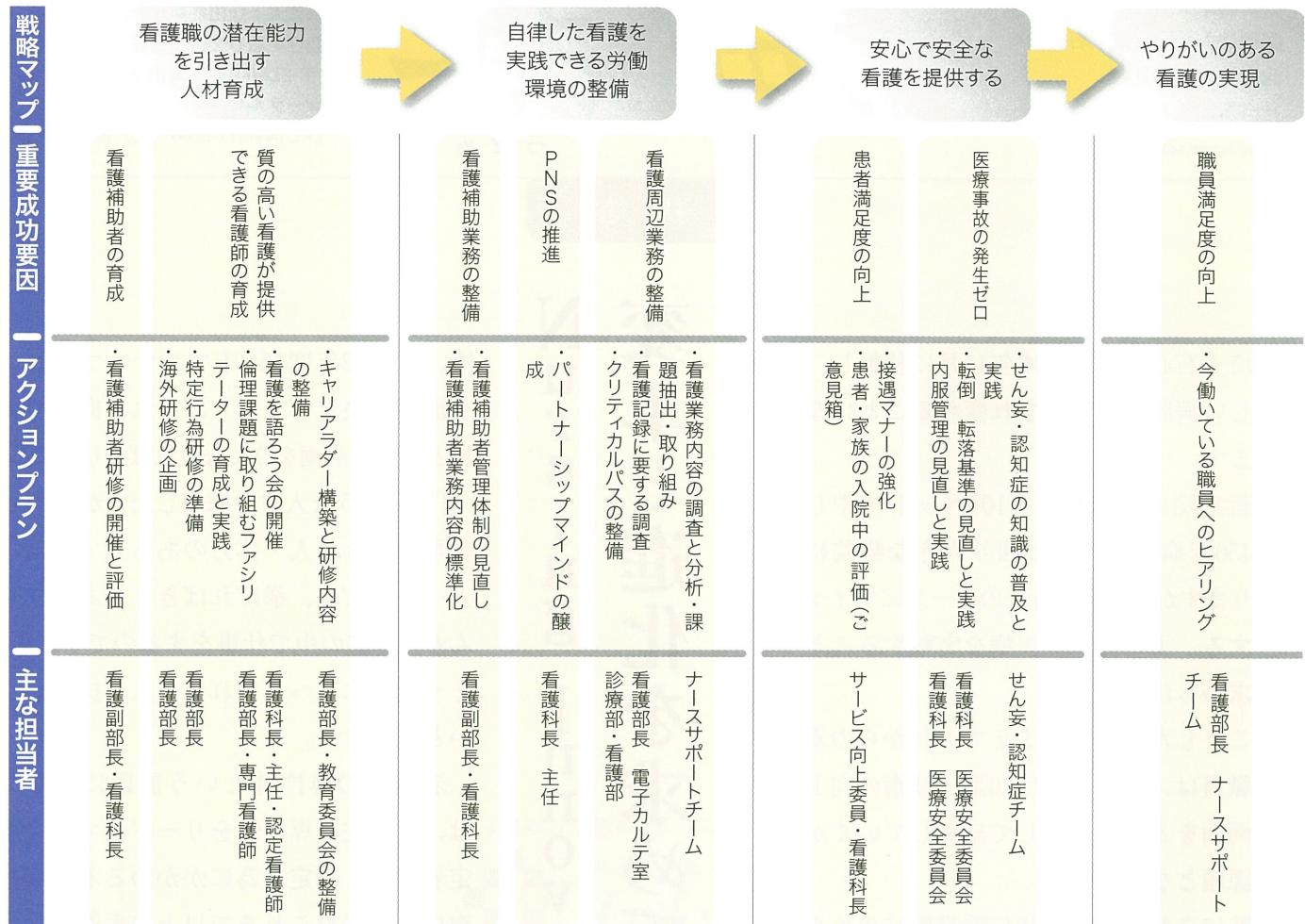
看護師の離職問題は、深刻な問題の一つです。これまで看護部では、WLB（ワーク・ライフ・バランス）活動に取り組んできましたが、十分な成果を上げられずにいるのが現状です。

そこで看護部単独でなく、他職種を交えた組織全体で取り組む“ナースサポートチーム”を発足させ、働きやすい病院づくりの活動がスタートしました。チームメンバーは、診療部・コメディカル部・事務部・看護部から選抜された職員で構成されています。

“どうなったら働きやすい病院になるか・こうなつたらいいな！”を討議しながら、とにかく内にこも



## 戦略テーマ：やりがいのある看護を実現するための職場づくり



らす“楽しくやる”をKey wordに進めていきます。



ナースサポートチーム活動

### 3. 病気の軌跡を重視する看護 ～急性期に携わる看護師だからこそ～

どんな病気でも慢性疾患になります。とりわけ高齢者は様々な慢性疾患の合併症を併せもっており、

長い人生の中で病気と共に生きてきた行路があります。

私たちのような病院に入院する患者さんの多くは、この慢性疾患が増悪し、治療を受けるわけですが、それは地域に暮らす患者さんにとって一瞬の出会いに過ぎません。ともすれば患者さんが家庭で病いと闘ってきた軌跡が軽視

され「通りすがりの人」になりかねないです。こうした病みの軌跡にスポットライトを当てることなくして本当の意味での治療・看護と言えるでしょうか？

例えば心不全の急性増悪、脳梗塞後の再発、糖尿病や高血圧症など慢性疾患をもつ患者さんに対し、

単発的な関わりのみでなく、慢性状態にある患者さんの急性期（急性増悪）の援助を通して、生きていく営みである生活の視点をもって関わることに治療・看護の真の価値があると私は考えます。

今後、病気と共に生きる患者さんを包括的にケアする“看護を語り合う”場を創り、看護の探求をしていきたいと思います。

## 4.PFM (Patient Flow Management) ～入院前からかかわる退院支援、そして退院後へ～

### 1) 退院促進からの質的飛躍を目指して

今、病院界では「空床を埋める」をテーマにしたセミナーが人気を集めていると聞いていますが、当院では全く逆で、石心会の理念である「患者を断らない」ために「空床を作る」ことがテーマになります。これは、移転、増床後も変わらないテーマになると思います。

そして、当院での治療を終えた患者さんに速やかに退院していただくためには、入院前から患者さん一人ひとりの身体的・社会的・精神的背景を把握し、入院中はもちろん退院後の支援を含めたシステムを考えなければなりません。

こうした課題を解決する手法として今全国的に注目を浴びているのがPFMです。PFMは2006年に東海大学医学部附属病院がこの手法で大きな成果を上げ、2012年以降は国が診療報酬制度に盛り込み、普及の後押しをしていることもあって、現在先進的な医療機関の間で注目を浴びている手法です。

病院の都合で、ただ退院を促進するのではなく、こうした活動に取り組むことは、石心会のもう一つの理念である「患者中心の医療」の実践でもあると私は考えています。

### 2) 当院におけるPFM活動の始動

当院における退院調整の沿革をたどると、1994年に看護部内にディスチャージ（退院促進）部署を設立し、入院時から始まる退院調整として先駆的に取り組んできた経緯がありますが、看護部に限定した活動では限界を感じてきました。PFMは当院におけるこうした活動の歴史を踏まえ、病院を挙げて患者さんの退院に向けた「患者支援センター」を作つて活

動していくところに特徴があります。

看護部独自の取り組みとしては、2016年11月に地域連携担当の看護副部長を配置して退院支援におけるフローの整備、DPC期間越えとなった患者情報の共有と介入を病棟科長と定期的にカンファレンスを行いながら進めています。

また、特に大事なのは、当院は、緊急入院が全入院の6割を占めている事実です。緊急時はご家族が同伴していることが多く、救急の場で家族対応することが重要であると考え、救急外来の現場で可能な限りの退院支援の介入を開始しました。この結果は、退院支援計画書の取得数に表れ、救急外来看護師をはじめ病棟看護師の患者・家族への思いに添う姿勢をうかがうことができます。

2016年5月からの58床回復期転換による一般床の減少は、こうした活動を見直す良い契機になりました。急性期の病床が少なくなったことで在院日数短縮化に拍車がかかり、在宅や施設に戻る患者さんやご家族への退院後の医療処置、指導やサポートなどこれまで病院内で完結していた看護が退院後へとシフトしています。看護部では「退院訪問用車両」を準備していただき地域へと出向いていく活動が始まりました。



退院後訪問用車両

退院時、  
褥瘡のある  
患者さんで  
実際に継続  
する処置が  
必要な場合

には、医療処置  
の知識と技術を習得した認定看護師が施設を訪問し、  
施設のスタッフと共にケアに当たっています。

当院は、地域がん診療支援病院でもあります。今後は在宅療養のがん患者さんへのサポートなど、がん専門看護師や緩和ケア認定看護師をはじめとするがん領域のスペシャリストにも、実際に地域に出向いて活動する環境を整備していきたいと考えます。

看護職への期待は、国を挙げての高まりを見せており、当院看護部は全国の先駆的モデルになるよう頑張りたいと思います。

# 新埼玉石心会病院 急ピッチに進む開院準備



8月10日竣工式でいよいよ建物が引き渡され、  
11月1日の開院に向けてさまざまな準備が行われます。

新埼玉石心会病院は8月10日竣工を目指して、急ピッチで仕上げに向かっています。

現病院では地域医療の核となる病院として活動しています。新病院は近未来の医療を体現する病院として、民間病院ならではの脳神経センター、心臓病センター、救急部門を軸にした病院づくりが特徴です。

病床数450、手術室11。1階に救急外来を中心とした救急部門を配置し、健康塾、各種セミナーなど研修、ライブ手術中継を想定した250人収容のラーニングセンター（アゼリアホール）を2階に設けています。

また患者さんに分かりやすいように3階、4階、5階の各病棟フロアはABCDの病棟

エリア毎に病棟カラーを決め、病棟内のインテリアには自然素材の草花のデザインをしています。

各所に新しい工夫を凝らした新病院ですが、完成図のパースと現在進行している工事現場をお伝えします。

**患者さんのためだけでなく、  
働くみんなのためでもある病院**



## 1階

エントランス。救急部門が配置されます。コンビニ《Green Leaves》の他、木

スピタルラウンジには焼きたてのパンやスイーツをサービスするカフェもあり、テイクアウトができます。



## 2階

ラーニングセンター《アゼリアホール》。アゼリアの名称は、狭山市の花であるツツジから付けました。11の手術室、医局が置かれます。



## 3・4・5階

病棟フロアです。



## 各階



大きな窓を配した《入院患者用ラウンジ》



## 6階

味はもちろん、眺望も楽しめる職員用レストラン《プロヴァンス》。

メニューが多彩です。「チョイス」は主菜2品、副菜3品から組み合わせ



で、和麺・中華麺の「ベイシック」、お急ぎの方にはカレーや丼ものの「エクスプレス」。さらに目の前で調理する「ライブ・クック」、グレードの高い料理の「プレミアム」さらに単品で頼める「アラカルト」などがあります。

一般用レストラン《ラベンダー》。

外来受診、付添い、お見舞いの方を対象にしたレストランです。地元野菜

やサイボクハムのゴールデンポークを使ったメニュー、生パスタメニュー、薬膳粥セットなどが用意され、宴会場としても利用可能です。



1階 コンビニ

### ●保育園の新設に向けて安全祈願祭

埼玉石心会病院の新築移転にともない、関連施設の確保も進んでいます。新病院の近くにつくる保育所もそのひとつです。3月1日、埼玉石心会病院保育室新築工事の安全祈願祭が執り

行われました。

式典には、持田和夫・埼玉地区統括事務部長、田村昌子・埼玉石心会病院事務副部長、菊地世紀・埼玉石心会病院事務長代理が出席しました。



# 石心会・東京石心会透析施設交流会を開催

毎年石心会グループの透析施設のスタッフが集まり開催される交流会が、今年も2月26日に川崎市のホテルを会場に行われました。

7回目を迎えた今年の交流会は、2部で構成され、第1部は「末梢動脈疾患(PAD)」、第2部は「バスキュラーアクセス」をテーマにしました。



第1部は、宍戸寛治・川崎クリニック院長の講演後、「川崎クリニック、さいわい鹿島田クリニックのフットケアの現状～下肢救済を図る取組み～」(発表：吉澤知美・川崎クリニック)

ク看護科)、「当院のフットケアに関する現状と課題～透析室と病棟で連携するために～」(発表：浅場美沙子・川崎幸病院看護部)、「当院に置けるフットケアの現状と課題～情報電子化とスタッフ意識向上への取組み～」(発表：福田千尋・さやま腎クリニック看護科)、「昭島腎クリニックにおけるフットケアの現状と爪病変をきっかけに足趾の切断に至った患者からみえた課題」(発表：樋口ちさと・昭島腎クリニック看護課)の4題が発表され質疑、討議が行われました。

第2部では、栗本義直・昭島腎クリニック院長が講演。その後、「当院におけるバスキュラーアクセス(VA)管理」(発表：齋藤千尋・川崎クリニック透析技術課)、「当院で

のVAIVTにおける圧測定の実際」(発表：伊藤達弘・川崎幸病院CE科)、「Cl-Gapを用いたVA管理の有用性の検討」(発表：星野加奈・さやま腎クリニックCE室)、「アクセス管理～HD02モニターを活用したVA管理」(発表：清水絢平・昭島腎クリニック透析技術課)の4題で、同じく質疑・討論が行われました。



この日の参加者は、川崎幸病院20人、川崎クリニック32人、さいわい鹿島田クリニック18人、埼玉石心会病院7人、さやま腎クリニック35人、昭島腎クリニック22人の合計134人でした。

## 神奈川地区

### かわさき幸がんWeek 2017を開催



2回目となる「かわさき幸がんWeek」が、2月6日から10日までの5日間連続で、第二川崎幸クリニックとミューザ川崎シンフォニーホールを会場にして開催されました。

医療講演として、大前芳男・川崎幸病院消化器内科部長「市民ファーストの胃がん検診」、塚本啓祐・川崎幸病院消化器内科医長「お腹のエコー(超音波)で早めに見つけるすい臓がん」、木村美英・第二川崎幸クリニック乳腺外来医師「乳がん検診の受け方。自己触診マスター」、武岡ひとみさん(一般の方)「もっと知ってほしい乳がんのこと～私

の場合～」、太田竜・川崎幸病院内視鏡外科部長「お腹を切らず、やさしく治す大腸がん」、岩崎真一・川崎幸病院婦人科医長「検診でみつけて治そう婦人科がん」、田邊真由美・第二川崎幸クリニックがん





化学療法看護認定看護師「第二川崎幸クリニックでのがんサポートの取り組み」、稻富正治・第二川崎

幸クリニック心理相談室室長「がんと向き合う“こころのケア”」、網木学・川崎幸病院外科医師「本当に役立つがん検診の話」

10日最終日は、関川浩司・第二川崎幸クリニック院長が音楽家の平沼有梨さんをお迎えして特別対談と平沼さんによるピアノとキーボードの演奏を行いました。

また、第二川崎幸クリニックでは、患者さんのつくられたさまざまな作品の展示や関連医療機器も展示され、来場者の相談にも対応しました。

来場者数は、1日目72人、2日目25人、3日目42人、4日目63人、5日目120人で、合計322人でした。

## 川崎幸病院

# 低侵襲手術センターは外科、婦人科、泌尿器科で構成

川崎幸病院は、病院の6階に、術後の回復が早く、身体への負担が少ない鏡視下手術を行う低侵襲手術室3室を新設。この4月に「低侵襲手術センター」を立ち上げます。

センター長に就任するのは太田竜・内視鏡外科部長。太田センター長は、「手術は、患者さんの身体に負担が少なく、同時に手術に対する患者さんのストレスも軽減される低侵襲を求めて開発、発達するのは当然のことだと思います。また、最近では、手技のみでなく医療機器、薬剤の発展にも目を見張るものがあります。そこで、低侵襲手術センターを開設して腹腔鏡下手術に特化したセンターがつくられました」

地域から手術のニーズが高まる中、年間約4,500件の手術を行ってきましたが、手術室7室では物理的に限界で、第二川崎幸クリニックにもディ



太田センター長



仕上げに入る手術室

サージャリーのための手術室を2室つくり、さらに腹腔鏡下手術を行う手術室を3室新設して低侵襲手術センターが設けられました。

太田センター長は、「次世代を見越して最新のテクノロジーを導入して手術室をつくりました。既存の手術室では高度な拡大手術を行い、当センターでは単孔式や減孔式手術も含めたより整容性の高い鏡視下手術を行い、拡大手術とハイブリッドした術式にも対応できるようにします。外科、婦人科、泌尿器科でセンターを構成します」と、基本方針を話しています。

実施する鏡視下手術は、外科は良

性疾患では胆石症、胃・十二指腸潰瘍、急性虫垂炎、鼠径ヘルニア、気胸膜腫瘍、腸閉塞、直腸脱、人工肛門造設など、悪性疾患では食道がん、胃がん、大腸がん、膵がん、肝臓がんなど。

婦人科は、子宮筋腫、卵巣腫瘍、子宮内膜症、などの良性疾患、さらに子宮体がん、子宮頸がんも検討、対応します。

泌尿器科は、腹腔鏡補助下の小切開手術（MIES）を行います。腹腔鏡手術と開腹手術のメリットを併せた手術で、腎がん、腎孟・尿管がん、前立腺がんなどの泌尿器科がんや、副腎腫瘍や一部良性疾患です。



施主検査を実施

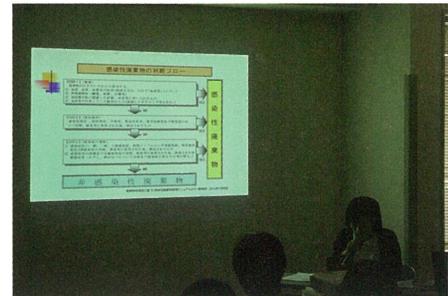
## QC活動実施報告会開催

川崎幸クリニックが開設して以来、QC活動実施報告会の開催が恒例となっています。QCとはQuality Controlの略で、職場で働く人々が継続的に製品・サービスなどの質の管理・改善を行うもので、自主的に行い、自己啓発・相互啓



発をはかり、より良い職場環境、お客様満足の向上を目指すものです。近年、TQM (Total Quality Management) と呼ばれることが多くなってきています。医療の分野でもQCの手法を生かして、業務改善・患者サービスの向上・経費節減などの取り組みをしています。

2月18日に川崎幸クリニックで、同報告会が開催されました。看護科の寺山ゆみさんによる「感染性廃棄物の分別の見直し」の発表を皮切りに、放射線科、リハビリテーション、



検査室、サービス課フロント、サービス課クラーク、医療相談室、地域医療部、薬剤科からさまざまなテーマの発表がありました。

来年の報告会は、院長より開設20年を目前に控え「震災に関する対策と対応」という統一テーマを提案され、各部署が初めて共通課題で研究、活動を報告することとなりました。

## 第二川崎幸クリニック

### Performance and Goals Meeting 2016 開催

第二川崎幸クリニックでは、各部署の業務内容の理解を深め、よりよい医療サービスを提供することを目指して、職員として行ってきたことや工夫したこと、さらに次年度の目標を発表する「Performance



and Goals Meeting 2016」が開催しています。今年も3月16日に第二川崎幸クリニック会議室で開かれました。

発表は、看護科の庄司美幸さんの「処置室整備に関する取り組み－危機管理の観点から問題点を考える－」から始まり、検体検査室、患者サービス課健診担当、生理検査室、患者サービス課診療フロアクラーク、患者サービス課コンシェルジュ、看護科化学療法室、薬剤室、医療相談室、患者サービス課



フロントなどから13題の発表が行われました。



最後に関川院長から講評があり、来年度に向けた課題などが提起されました。

# 学会発表一覧 ( 2016.10 ~ 2017.2 )

## ◆川崎幸病院

### 学会発表

#### 診療部

#### 【国際学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
Junichi Shimamura, Takuya Fujikawa	心臓血管外科	2016.10.3	30th European Association For Cardio-Thoracic Surgery	Open repair of thoraco-abdominal aortic aneurysm: contemporary outcomes in 393 elective cases	Spain	一般口演
Takuya Fujikawa	心臓血管外科	2016.10.18	Aortic Live 2016	Aortic Surgery Education -Japan	Germany	講演
Soichiro Hase, Tassei Nakagawa, Motoshige Yamazaki, Yumi Kando, Mutsumu Fukata, Hiroshi Nishimaki	心臓血管外科	2016.10.20	Asian Society for Vascular Surgery 2016	Endovascular repair of an isolated common iliac aneurysm in 70 patients	Singapore	ポスター
佐藤兼重	形成・美容外科	2016.10.23 ~ 27	第 23 回国際美容外科学会	Facial Bone Contouring in Asians	京都	パネルディスカッション
伊藤賀敏	心臓病センター	2016.11.14	アメリカ心臓病学会 (AHA)	Current status of extracorporeal cardiopulmonary resuscitation for cardiac arrest patient in Japan -The results of nationwide questionnaire-	ニューオーリンズ	ポスター

#### 【全国学会】

島村淳一	心臓血管外科	2017.2.27	第 47 回日本心臓血管外科学会学術総会	弓部に及ぶ慢性 B 型大動脈解離に対する弓部遮断一期的手術と全弓部置換先行二期的手術の比較	東京	ポスター
大島 晋	心臓血管外科	2017.2.27	第 47 回日本心臓血管外科学会学術総会	広範囲胸腹部大動脈人工血管置換術において分割手術は対麻痺予防となるか	東京	ポスター
平井雄喜	心臓血管外科	2017.2.28	第 47 回日本心臓血管外科学会学術総会	Stanford B 型急性大動脈解離後、急性期治療介入のリスク因子の検討	東京	ポスター
藤原裕之	消化器内科	2016.11	JDDW	当院における悪性狭窄に対するステント留置の現状	神戸	ポスター
芝田紫野	放射線治療科	2016.11.25-27	日本放射線腫瘍学会第 29 回学術大会	尿路上皮癌に対する SIB-VMAT の初期経験	京都	ポスター

#### 【地方学会】

長谷聰一郎, 中川達生, 山崎元成, 西巻博	心臓血管外科	2016.11.12	神奈川ステントグラフト研究会	正中仙骨動脈由来の type II endoleak 治療に難渋した 1 例	神奈川	一般口演
長谷聰一郎, 中川達生, 山崎元成, 西巻博	心臓血管外科	2016.11.24	第 11 回川崎大動脈ステントグラフト研究会	大動脈縮窄症バイパス術後吻合部瘤に対して Double D technique によるステントグラフト治療を施行した 1 例	神奈川	一般口演
島村淳一	心臓血管外科	2016.12.3	第 242 回日本循環器学会関東甲信越地方会	急性大動脈解離に対する治療戦略	東京	講演
広上智宏、山本晋、 笹栗志朗、大島晋、藤川拓也、尾崎健介、櫻井茂、島村淳一、藤岡俊一郎、平井雄喜、西江龍太郎	心臓血管外科	2017.1.26	第 31 回心臓血管外科 ウィンターセミナー学術集会	梅毒性大動脈炎類似の組織像を呈した原因不明の大動脈炎による上行大動脈瘤の一例	長野	一般口演
朝倉 慶	腎臓内科	2016.10.7	第 46 回日本腎臓学会 東部学術大会	上気道炎罹患後にネフローゼ症候群を発症後 proliferative glomerulonephritis with monoclonal IgG deposit (PGNMID) と診断された 1 例	東京	口演
田中詩織	腎臓内科	2016.10.7	第 46 回日本腎臓学会 東部学術大会	中央卸売市場におけるレプトスピラ感染が疑われたワイル病の一例	東京	ポスター
齋藤佳範	腎臓内科	2016.10.7	第 46 回日本腎臓学会 東部学術大会	糖尿病を伴う維持透析患者に対する GLP-1 アナログ製剤単独投与中に低血糖性脳症をきたした一例	東京	ポスター
加藤亜唯	腎臓内科	2016.10.8	第 46 回日本腎臓学会 東部学術大会	紫斑出現に先行して腸重積を合併した紫斑病性腎炎の一成人例	東京	ポスター
長谷川明俊	婦人科	2016.10.5	第 39 回神奈川産婦人科内視鏡研究会	当院におけるセンチネルリンパ節を意識した腹腔鏡下広汎子宮全摘術	横浜	口演

## 【講演】

宇田 晋	腎臓内科	2016.11.2	第10回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会	(教育講演) 透析患者への腎臓内科医の考える薬物療法	横浜	口演
長谷川明俊	婦人科	2017.2.4	神奈川腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術セミナー	当院における腹腔鏡下広汎子宮全摘術	横浜	口演
加藤大基	放射線治療科	2017.2.4	平成28年度第3回神奈川県放射線治療技術研究会	川崎幸病院の放射線治療の現状	川崎	講演
加藤大基	放射線治療科	2017.2.17	北部地区医師会病院研究会	放射線治療の基本的な考え方と適応	沖縄	講演

## 看護部

片山亜由子	透析室	2016.11.26-27	日本腎不全看護学会	家族・社会的支援により寝たきり高齢透析患者の外来通院は可能である	大阪府	一般・ポスター
山田江梨香	8階北病棟	2016.11.26-27	日本腎不全看護学会	訪問診療の活用により腹膜透析(PD)ラストを実現し得た一例	大阪府	一般・口演
上地めぐみ	8階北病棟	2016.12.3	神奈川ストーマ研究会	家族の協力が得られない高齢者の在宅管理にむけた多職種との連携	神奈川県	一般・口演
平本陽子	8階北病棟	2017.2.17-18	日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会	家族の協力が得られない高齢者の在宅管理にむけた多職種との連携	愛知県	一般・口演

## コメディカル部

八馬 豊	CE科	2016.10.14	第49回日本心血管インターベンション治療学会 関東甲信越地方会	Drug Coated Balloonによるステント内再狭窄症例の治療成績	東京	一般口演
長澤洋一	CE科	2016.10.22	第42回 体外循環技術医学会大会	動脈手術における脊髄保護戦略について	東京	一般口演
山田浩昭	CE科	2016.11.7	第7回 関東臨床工学会	臨床工学技士によるICLSインストラクターの活動について	神奈川	一般口演
山田剛士	CE科	2016.11.7	第7回 関東臨床工学会	体外循環を用いた緊急左開胸手術の検討	神奈川	一般口演
山田剛士	CE科	2017.2.16	第9回 植込みデバイス関連冬季大会	慢性心不全増悪を契機にphase 4 blockが疑われたICD患者の1症例	大阪	ポスター
石井大輔	リハビリテーション科	2016.10.29-30	第35回関東甲信越ブロック理学療法士学会	慢性閉塞性肺疾患に対し作業療法との協業が有効であった急性期呼吸リハビリテーションの一症例	横浜	ポスター
伊藤瑞枝	栄養科	2017.2.23-24	第32回 日本静脈経腸栄養学会	透析患者のGNRIとMNAにおける相関関係	岡山	ポスター
久米直子	栄養科	2017.2.23-24	第32回 日本静脈経腸栄養学会	心臓血管外科における脂肪乳剤使用の感染症への影響	岡山	ポスター
久米直子	栄養科	2017.2.23-24	第32回 日本静脈経腸栄養学会	「急性期病院における管理栄養士の病棟配置における効果」第2報	岡山	口演
久米直子	栄養科	2016.10.15	第13回日本在宅静脈経腸栄養研究会	急性期病院から在宅に繋げる医療スタッフの連携	東京	口演・パネラー
伊藤さおり	放射線治療品質管理室	2017.2.4	平成28年度第3回神奈川県放射線治療技術研究会	リニアック1台体制病院の振替照射体験談	川崎	講演

## 論文・教科書執筆等

## 診療部

発表者	部署	雑誌名	タイトル	分類
朝倉 慶	腎臓内科	臨床透析	透析骨症revival-その治療と展開 最近登場したカルシウム・リン・PTH治療薬の特徴とその適応患者 リン低下薬 イオン交換樹脂製剤 ピキサロマー	書籍
寺戸雄一	病理科	卵巣・卵管腫瘍病理アトラス〔改訂・改題第2版〕編集:森谷卓也、手島伸一	正常卵巣・卵管 多嚢胞性卵巣症候群	書籍
田中良明	放射線治療科	健康文化振興財団紀要、第51号、89-92、2016	ウォーキングのすすめ	その他
佐藤兼重	形成・美容外科	日本頭蓋頸顔面外科学会誌	頭蓋縫合早期癒合症手術件数アンケート調査(2011年度、2012年度)	査読制度のある学会誌

## 看護部

佐藤久美子 (共著)	看護部	日本医療マネジメント学会雑誌 Vol.7, No.3, 2016	看護実践能力と誤薬との関連性の検証—内服薬と注射薬に焦点をあてて—	査読制度のある全国論文
---------------	-----	----------------------------------	-----------------------------------	-------------

## 事務部

松田悠史	医療相談科	脳の看護実践 2、3月号	高次脳機能障害患者の地域支援ネットワーク・社会資源について	書籍
------	-------	--------------	-------------------------------	----

## ◆第二川崎幸クリニック

### 学会発表

#### 【全国学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
藤田範子 (太田 竜 医師との共同 演者)	看護科	2017.2.17～2.18	第34回日本ストーマ・ 排泄リハビリテーション 学会総会	海外で緊急増設された外国人ストーマ保持者に対する治療経験	名古屋	口演

## ◆川崎クリニック

### 学会発表

#### 看護部

由井淑子	看護部	2016.11.26	日本腎不全看護学会	下肢救済を図る看護師連携の会(JOYFUL)の活動報告	大阪府	一般・口演
野口美晴	看護部	2016.11.26	日本腎不全看護学会	足趾切断を余儀なくされた患者のセルフケアへのアプローチ	大阪府	一般・口演

## ◆さいわい鹿島田クリニック

### 学会発表

#### 【全国学会】

小野真紀子	看護部	2016.11.26～27	日本腎不全看護学会	チーム医療により傷治癒となった一例 ～下肢救済を図る看護師連携の会 (JOYFUL) での関わり	大阪	一般・口演
-------	-----	---------------	-----------	---	----	-------

## ◆在宅部門川崎地区

#### 【講演】

柳原智江	かしまだ地域 包括支援セン ター	2017.2.4	認知症市民公開講座 「認知症になってしま いきいきと～本人の意 思を尊重した生活のため に～」	シンポジストとして登壇し、地域包括支援センターの役割、か しまだ地域包括支援センターの活動紹介を行った。	川崎市	シンポジウム
------	------------------------	----------	---	---	-----	--------

## ◆埼玉石心会病院

### 学会発表

#### 診療部

#### 【国際学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
山根正久	循環器内科	2016.10.30	TCT 2016	Heavily Calcified Native Vessel CTO with Viable Myocardium	アメリカ	口演
山根正久	循環器内科	2016.10.30	TCT 2016	Contemporary Reverse CART in CTO-PCI	アメリカ	口演
山根正久	循環器内科	2016.11.21	Lariboisiere Hospital CTO Work shop	Current Guide wires and wiring in CTO intervention	フランス	口演
山根正久	循環器内科	2016.12.21	CTO Summit ,China	CTO-PCI Technique: My experience and technique, so far	北京	口演
山根正久	循環器内科	2017.1.14	5th IMC Live Course	CTO-PCI Ultimaster® Experience	サウジアラビア	口演
山根正久	循環器内科	2017.1.15	5th IMC Live Course	Retrograde Approach Basics	サウジアラビア	口演
山根正久	循環器内科	2017.2.19	17th CRT	Antegrade Wire Technique: Wire Strategy and How to know You are in the Lumen	アメリカ	口演
山根正久	循環器内科	2017.2.20	17th CRT	Retrograde Basics: How to Pick a Collateral and Which Wire to Cross With	アメリカ	口演
山根正久	循環器内科	2017.2.20	17th CRT	How To Manage the Impenetrable Proximal Cap	アメリカ	口演
山根正久	循環器内科	2017.2.20	17th CRT	Problem-solving #5: How to Perform Antegrade Dissection and Re-entry if Guide Wire Won't Re-enter or Can't Deliver Balloon	アメリカ	口演
山根正久	循環器内科	2017.2.20	17th CRT	What To Do When the Micro-Catheter Won't Cross the Collateral Septal and Epicardial	アメリカ	口演
山根正久	循環器内科	2017.2.20	17th CRT	How To Manage Proximal Cap Ambiguity Without Going Retrograde	アメリカ	口演
山根正久	循環器内科	2017.2.23	CTO Summit 2017	What To Do When the Micro-Catheter Won't Cross the Collateral Septal and Epicardial	アメリカ	口演
長谷川耕太郎	循環器内科	2017.2.8	JIM 2017	Comparizon between NSE Cutting Balloon and POBA in side branch artery before main branch stenting assessed by FFR	イタリア	ポスター
芝崎太郎	循環器内科	2016.10.30	TCT 2016	A case of in-stent restenotic lesions in LMT treated with the perfusion balloon and two DEBs	アメリカ	ポスター
石原正一郎	脳神経外科	2016.11.18~19	LINNC SINGAPORE 2016 SEMINAR	Carotid stenting by ultrasound without contrast media	Pais	lecture
石原正一郎	脳神経外科	2016.11.18~19	LINNC SINGAPORE 2016 SEMINAR	Vertebral dissection after thrombectomy	Pais	moderator

#### 【全国学会】

小野田教高	内科	2016.11.4	第59回日本甲状腺学会	悪性腫瘍との鑑別を要する橋本病の結節性病変	東京	一般・口演
山根正久	循環器内科	2016.10.20	CCT 2016	CTO-PCI Japanese Perspective	神戸	一般・口演
山根正久	循環器内科	2016.10.20	CCT 2016	Expert voices-The future CTO expansion worldwide	神戸	一般・口演
山根正久	循環器内科	2016.10.20	CCT 2016	CCT Live Playback Session/Session 1	神戸	座長
山根正久	循環器内科	2016.10.20	CCT 2016	Expert voices-The future of CTO expansion worldwide	神戸	座長
山根正久	循環器内科	2016.10.21	CCT 2016	PCI Live Case Transmission 5	神戸	座長
山根正久	循環器内科	2016.10.21	CCT 2016	Master the complex-pursuing the optimal PCI strategy with SYNERGY	神戸	座長
山根正久	循環器内科	2016.10.21	CCT 2016	How to build up a career of CTO expert operator?	神戸	座長
山根正久	循環器内科	2016.10.21	CCT 2016	NIC@CCT2016 Nightmares in cath lab-Case I would not like to do again	神戸	座長
山根正久	循環器内科	2016.10.22	CCT 2016	Themed Live Case Transmission 7	神戸	座長
山根正久	循環器内科	2016.10.22	CCT 2016	CTCI@CCT International Cardiac CT conference for Complex Intervention 2nd session	神戸	座長
芝崎太郎	循環器内科	2016.10.20	CCT 2016	A successful case of CTO after CABG with a long tortuous retrograde route by using Glidesheath Slender	神戸	一般・口演
清水喜徳	外科	2016.11.26	第 78 回日本臨床外科学会	脾頭十二指腸切除後ドレーン総アミラーゼ量と脾瘻との関連性	東京	一般・口演
清水喜徳	外科	2016.11.30	第 29 回日本外科感染症学会	脾頭十二指腸切除症例における術前内視鏡的滅菌術が胆道感染および術後ドレーン感染に及ぼす影響	東京	一般・口演
児玉ひとみ	乳腺内分泌外科	2016.10.28	第 49 回日本甲状腺外科学会学術集会	甲状腺未分化癌に対し緊急手術を施行後心臓転移と診断された1例	甲府	一般・口演

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
中村 靖	乳腺内分泌外科	2016.10.27	第 49 回日本甲状腺外科学会学術集会	副甲状腺癌骨転移との鑑別を要したBrown腫瘍を伴う副甲状腺腫の1例	甲府	ポスター
石原正一郎	脳神経外科	2016.11.17～18	第 23 回日本神経内視鏡学会	シンポジウム6 水頭症/ETV	東京	座長
山田宗明	心臓血管外科	2017.2.27	第 47 回日本心臓血管外科学会学術総会	急性肺塞栓症に対する外科的肺動脈血栓除去術の検討	東京	ポスター
土岐和芳	麻酔科	2016.11.3	日本臨床麻酔学会第36回大会	左気管支動脈瘤破裂による左胸腔大量出血を起こしたvon Recklinghausen病患者の1例	高知	ポスター
栗原郁実	麻酔科	2017.2.11	第 29 回日本老年麻酔学会	当院における麻酔管理の高齢化に関する検討	津	一般・口演
山崎美保子	放射線科	2017.2.3	第 325 回 BODY-CT 研究会	健診胸部X線写真で異常影を指摘された65歳女性	東京	一般・口演
般若祥人	初期研修医	2016.11.26	第 78 回日本臨床外科学会	副腎とリンパ管浸潤を認めた43歳女性のSPNの一例	東京	一般・口演
鈴木康弘	心理相談科	2016.10.8	第 40 回日本死の臨床研究会年次大会	うつ病既往歴がある女性にみられた夫との死別体験に伴う喪の過程	札幌	ポスター

#### 【地方学会】

芝崎太郎	循環器内科	2016.10.4	第 49 回日本心血管インターベンション治療学会 関東甲信越地方会	LCXの高度屈曲石灰化病変に対してのロータブレーテー施行により冠動脈穿孔を起こした2症例	東京	一般・口演
高梨秀一郎	外科	2017.2.4	3rd CAMPS in 品川	腹腔鏡下S状結腸切除術におけるビデオクリニック ビデオカンファレンス②	東京	一般・口演
中村 靖	乳腺内分泌外科	2016.12.3	第 13 回日本乳癌学会 関東地方会	術後リンパ漏に対する手術の際、漏出部をICG蛍光法を用いて確認得た1例	さいたま市	一般・口演
山田哲也	整形外科	2017.2.11	第 31 回東日本手外科研究会	尺骨神経麻痺を合併した転位の少ない小児伸展型上腕骨頸上骨折の1例	札幌	一般・口演
角 優介	整形外科	2017.2.11	第 31 回東日本手外科研究会	潰瘍性大腸炎に合併した前腕壊疽性膿皮症の一例	札幌	ポスター
山田宗明	心臓血管外科	2016.11.5	第 172 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会	慢性硬膜下血腫を合併し脳外科手術を先行させた連合弁膜症の一例	東京	一般・口演
井上梨紗子	皮膚科	2016.11.19	第 869 回日本皮膚科学会東京地方会	2次性との鑑別を要し、繊維上皮様変化を伴った多発結節を呈した肛周乳房外 Paget病	東京	一般・口演
土橋隼人	皮膚科	2016.11.19	第 869 回日本皮膚科学会東京地方会	末期腎不全患者に生じた下腿 calciphylaxis の1例	東京	一般・口演
山崎美保子	放射線科	2017.2.8	第 66 回新宿 Chest Roentgen Conference	健診胸部X線写真で異常影を指摘された65歳女性	東京	一般・口演
雨宮光男	初期研修医	2016.10.8	第 627 回日本内科学会 関東地方会	ALTA療法を契機に発症した急性前立腺炎の1例	東京	一般・口演
東盛雄政	初期研修医	2016.10.8	第 627 回日本内科学会 関東地方会	PET-CTが有用であった大動脈グラフト感染の1例	東京	一般・口演
高橋信敬	初期研修医	2016.11.12	第 628 回日本内科学会 関東地方会	急性下肢虚血に対する血栓除去術後にコンパートメント症候群を来たした一例	東京	一般・口演
吳 輝雄	初期研修医	2016.12.3	第 843 回外科集談会	腹腔内遊離ガス像を認めた腸管囊腫様気腫症の1例	越谷	一般・口演

#### 【講演】

志田晴彦	外科	2016.11.24	第 78 回日本臨床外科学会	パネルディスカッション02 腸閉塞の質的診断と治療戦略	東京	司会
上宮奈穂子	脳神経外科	2016.12.3	第 49 回西関東 NeuroVR セミナー	造影剤未使用・超音波ガイド下 頸動脈ステント留置術 "eGFR <15での挑戦"	大宮	口演
石原正一郎	脳神経外科	2016.12.20	社内レクチャー	脳神経外科から診た脂質管理における知識向上	大宮	口演
石原正一郎	脳神経外科	2017.1.18	西武抗凝固療法 Up to Date	急性期脳塞栓治療に対する血管内治療	所沢	口演
石原正一郎	脳神経外科	2017.2.8	脳梗塞 Total Management 地域医療としての脳塞栓症の予防、治療、リハビリテーション		川越	総合座長
上宮奈穂子	脳神経外科	2017.2.8	脳梗塞 Total Management 地域医療としての脳塞栓症の予防、治療、リハビリテーション	心原性脳塞栓症と脳血管内治療	川越	口演
石原正一郎	脳神経外科	2017.2.25	埼玉 NPH ミーティング	特発性正常圧水頭症の院内連携と診断治療	大宮	座長
長谷川真作	脳神経外科	2017.2.25	埼玉 NPH ミーティング	特発性正常圧水頭症iNPHの診療において判断に迷った画像	大宮	口演

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
鈴木康弘	心理相談科	2016.12.2	第27回川越地区NST勉強会	食をめぐる家族・患者の心のケア	川越	教育講演

#### コメディカル部

藤山真由美	生理検査室	2017.2.25	心臓リハビリテーション 第1回関東甲信越支部地方会	当院心臓リハビリテーションの振り返りと課題	大宮	ポスター
秋山好美	栄養室	2017.2.23	第32回日本静脈経腸栄養学会学術集会	急性期病院における中心静脈ライン挿入背景及び血流感染発症群の挿入前臨床データの検討	岡山	ポスター
宮川直輝	検体検査室	2016.10.29～30	平成28年度日臨技関 甲信支部首都圏支部医学検査学会(第53回)	トロポニンI報告値に関する検討	山梨	口演
小出采歩	検体検査室	2016.10.29～30	平成28年度日臨技関 甲信支部首都圏支部医学検査学会(第53回)	心臓血管外科手術後カンファレンスでの血液製剤確保状況の伝達	山梨	口演
中村暁子	検体検査室	2016.12.4	第45回埼玉県医学検査学会	当院のHbA1c測定におけるHOLC法と酵素保父のデータ乖離要因	埼玉	口演
安田卓也	検体検査室	2016.12.4	第45回埼玉県医学検査学会	化学療法開始前のHBV検査セット化後の依頼状況 HBV検査実施状況調査後の1年間の追跡	埼玉	口演
安藤恭代	検体検査室	2016.12.4	第45回埼玉県医学検査学会	Reversed Clinico-Pathological Conference(R-CPC)の実践	埼玉	口演
藤沢美穂	病理検査室	2016.12.17	第15回山梨・埼玉細胞診合同講習会	組織型推定に苦慮した乳腺悪性筋上皮腫の一症例	山梨	一般・口演

#### 看護部

六反勝美	看護部	2016.10.8～9	第40回日本死の臨床研究会年次大会	緩和ケアチームカンファレンスの評価と今後の課題	札幌	示説
半田恵理子	手術室	2016.10.14～15	第30回日本手術室看護学会	術後訪問実施率向上に向けて	仙台	示説
後藤久乃	救命救急室外來	2016.10.29～30	第18回日本救急看護学会	救命救急外来に配属された既卒看護師のシミュレーション教育実施後の思い	千葉	一般・口述
石渡麗	4階南病棟	2016.11.9～10	第47回日本看護協会学術集会慢性期看護	看護師が認知症高齢者ケアにおいて抱く困難への対応	鳥取	示説
小田幸子	3階北病棟	2016.11.9～10	第47回日本看護協会学術集会慢性期看護	乳癌患者に対する初回化学療法後の電話訪問の効果	鳥取	示説
佐久間照美	回復期リハビリテーション病棟	2016.11.9～10	第47回日本看護協会学術集会慢性期看護	経験年数によるA病棟看護師の退院支援活動に関するアセスメントの違い～事例検討を通しての実態調査から～	鳥取	口演
福島俊江	看護部	2016.12.10～11	第36回日本看護科学学会学術集会	周術期外来を実践している手術室看護師のワーク・エンパワーメントと仕事への満足度	東京	口演
伊藤久子	回復期リハビリテーション病棟	2017.2.4	埼玉看護協会 第4支部 第33回 看護研究発表会	せん妄を有する認知症高齢患者に携わる看護師の体験	埼玉	一般・口述
有村治喜	ICU	2017.2.4	埼玉看護協会 第4支部 第33回 看護研究発表会	緊急手術を受けた患者のせん妄に直面した家族の体験	埼玉	一般・口述

#### 事務部

山川理絵	診療情報管理室	2016.10.12～14	第42回日本診療情報管理学会学術大会	分析ソフトを用いたクリティカルパスの改訂	東京	一般・口演
------	---------	---------------	--------------------	----------------------	----	-------

#### 論文・教科書執筆等

##### 診療部

発表者	部署	雑誌名	タイトル	分類
小野田教高	内科	内分泌代謝専門医ガイドブック改訂第4版	画像診断 甲状腺・副甲状腺	書籍
磯部聰史	初期研修医	埼玉県医学会雑誌 Vol.51 No.1	腸重積にて発症した盲腸内分泌細胞癌の1手術例	雑誌
山田宗明	心臓血管外科	日本心臓血管外科学会雑誌 2016 45巻5号:254～257頁	両側冠動脈解離を伴うStanford A型急性大動脈解離に対しLMTステント留置後に上行大動脈置換術および冠動脈バイパス術を施行した1例	雑誌
山田宗明	心臓血管外科	日本心臓血管外科学会雑誌 2016 45巻6号:299～301頁	完全内臓逆位の急性A型大動脈解離に対し、上行弓部大動脈置換術を施行した1例	雑誌

#### ◆さやま総合クリニック

##### 学会発表

##### 【全国学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
濱 恵	外来	2016.11.10～11	日本看護学会慢性期看護	糖尿病療養指導に共通・共有の視点を加えた後の看護師の意識	鳥取	示説



【地方学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
大塚博紀	健診センター	2017.2.26	第54回埼玉県医学会総会	50歳以上のBMIか腹囲かのどちらかが大きな体格者間における人間ドック結果の違い	埼玉	口演

【講演】

菅野壮太郎		2016.10.14	第42回日本診療情報管理学会学術大会	安全管理 有害事象(1) 安全管理 情報保護(1)	東京	座長
豊永義清	小児科	2016.11.20	第48回日本小児感染症学会	モーニングセミナー3	岡山	座長

論文・教科書執筆等

発表者	部署	雑誌名	タイトル	分類
根上昌子	検診センター	埼玉県医学会雑誌 第51巻 第1号	40歳以上の男性におけるBMI及び腹囲と呼吸機能との関連	雑誌

◆さやま腎クリニック

学会発表

【全国学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
野本洋平	CE室	2016.10.22~23	第19回在宅血液透析研究会	他院にて維持透析中の患者における、日機装社製個人用透析装置DBG-03でのD-FAS機能を用いた在宅血液透析導入の検討	広島	一般・口演
伊藤風起	CE室	2016.11.12~13	第20回日本アクセス研究会	リドカイン及びプロピトカイン共融混合物「エムラクリーム」の穿刺痛緩和効果の評価	熊本	一般・口演

【講演】

座長：池田直史	人工透析内科	2016.10.14	埼玉西部腎臓病講演会	慢性腎臓病患者における血圧管理	埼玉	講演
池田直史	人工透析内科	2016.10.18	第5回埼玉西部糖尿病カンファレンス	CKDと血糖管理 当院における血糖管理ふまえて	埼玉	講演
座長：池田直史	人工透析内科	2016.10.27	高尿酸血症カレントセミナー	慢性腎臓病における高尿酸血症の実際	埼玉	講演
池田直史	人工透析内科	2016.11.11	入間市薬剤師会学術勉強会	CKDの診断と治療	埼玉	講演
総合座長：池田直史	人工透析内科	2016.11.04	埼玉西部地区糖尿病講演会	SGLT2阻害薬の新たな可能性	埼玉	講演

論文・教科書執筆等

発表者	部署	雑誌名	タイトル	分類
池田直史	人工透析内科	ラジオ日本(1422kHz)『21世紀の医療と介護をみつめて』メインパーソナリティ	毎週金曜日AM5:10~5:20放送	ラジオ番組

◆昭島腎クリニック

学会発表

【講演】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
栗本義直		2016.9.18	第21回八王子血液浄化技術交流会	「エコーや穿刺の意義」	日野市立病院	口演

◆新緑脳神経外科

学会発表

【全国学会】

井上光広	サイバーナイフセンター	2016.11.25	日本放射線腫瘍学会 第29回学術大会	Robotic radiosurgery の評価線量検証における半導体検出器の有用性	京都	一般口演
井上光広	サイバーナイフセンター	2017.1.21	第8回 日本放射線外科学会	Xsight Lung のための治療計画CTセットアップ支援ソフトの開発	山口	一般口演

【地方学会】

井上光広	サイバーナイフセンター	2017.1.28	日本放射線技術学会 第63回関東部会研究発表会	位置照合システムによる肺腫瘍認識の可否を予測するシステムの開発	栃木	一般口演
廣田佳史	検査・放射線科	2017.1.28	日本放射線技術学会 第63回関東部会研究発表会	Robotic Radiosurgery Systemにおける新型金マーカの認識について	栃木	一般口演

【講演】

菊池千絵	検査・放射線科	2016.12.16	神奈川MAGNETOM研究会	頭部MRS撮影の工夫と臨床例	横浜	講演
------	---------	------------	----------------	----------------	----	----

◆老健わかば・立川地区在宅部門

論文・教科書執筆等

発表者	部署	雑誌名	タイトル	分類
川野和也	地域包括	平成28年度東京都地域リハビリテーション専門人材育成事業 現任者研修テキスト	第3章 第2節、第5節	公益財団法人 東京都福祉保健財団 発行